

町 長	副町長	院長	副院長	事務長	事務次長	合 議

別記様式第4号

病院運営審議会 報告書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文 書 番 号	
		決 裁 期 日	
名 称	平成23年度 第2回 上富良野町立病院 運営審議会		
日 時	平成24年2月13日（月） 午後6時00分から午後7時10分まで		
場 所	役場 審議室		
出席者	町長、北川委員長他4名(全員)、事務長、事務次長、藤田主査、長谷川主任		
内 容	町長、北川委員長挨拶の後、委員長の進行で審議を行った。		
	事務長より総括説明を行った。		
	平成22年12月から翌年4月にかけて常勤医師の異動により、平成23年度の患者数は、入院患者数は7.8%、2.3床/日の減、通院患者数は4.4%、6.6人/日の減の見込みとなっている。これらを踏まえて、平成23年度の収支見込と平成24年度予算案を決定した。		
	新年度予算の審議スケジュールは、2月9日に院長・副院長協議、2月10日は臨時課長会議で各会計予算案を決定し、「内示」があった。		
	本日の病院運営審議会の審議を経た後、2月28日は「厚生文教常任委員会」、3月8日～23日開催の3月議会に上程となることを説明した。		
	1 平成23年度病院事業会計収支決算見込みについて（次長説明）		
	別紙資料1により、平成22年度比の一般病床の利用率と外来患者数減の推移と減収見込み及び収支の各科目を説明し、当期純損失は約1千万円を見込んでいること、また、2月の入院患者が持ち直して、稼働率は約70%の水準となっているので、今後の患者動向に期待していることなどを説明した。		

2 平成24年度病院事業会計予算(案)について(次長説明)

平成24年度予算の算定根拠は、平成23年度の患者数等から想定し、一般病床は、平成22年度並の水準で計上、老健は、ほぼ同額を計上した。

この結果、3条予算は866,473千円(9,637千円、1.1%の減)で、収入では「入院収益」を、また、費用では「給与費」と診療に伴う「材料費」を中心に計上した概要を説明した。

また、4条予算は、79,783千円(11,802千円、17.4%の増)調整交付金事業〔医療機器購入、コンピュータ断層撮影装置(CT)更新〕及びCTの付帯機器「画像保存通信システム(PACS)」の導入などについて事業概要を説明した。

また、一般会計からの繰出金は、234,395千円(3条分:224,412千円、4条分9,983)で、前年対比2,527千円、1.1%の減となった。

3 その他

なし